

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産		
信託期間	約5年間（2014年10月21日～2019年10月18日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	米ドルコース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラーストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券	
	日本円コース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラーストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券	
	通貨αコース	イ、ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラーストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券	
運用方法	米ドルコース	①主として、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
	日本円コース	①主として、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないます。	
	通貨αコース	①主として、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨力パードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

米ドルコース
日本円コース
通貨αコース

運用報告書（全体版）

第17期（決算日 2016年5月20日）
第18期（決算日 2016年6月20日）
第19期（決算日 2016年7月20日）
第20期（決算日 2016年8月22日）
第21期（決算日 2016年9月20日）
第22期（決算日 2016年10月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）」は、このたび、第22期の決算を行ないました。

ここに、第17期～第22期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 米ドルコース

★米ドルコース

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			アレリアンML P指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 1 月20日)	9,263	30	△ 7.1	9,757	△ 2.4	0.1	98.3	19,682
2 期末 (2015年 2 月20日)	9,889	30	7.1	10,230	4.8	0.0	99.1	21,279
3 期末 (2015年 3 月20日)	9,488	30	△ 3.8	9,771	△ 4.5	0.0	98.9	20,673
4 期末 (2015年 4 月20日)	9,699	30	2.5	10,090	3.3	0.0	99.0	21,212
5 期末 (2015年 5 月20日)	10,125	30	4.7	10,455	3.6	0.0	98.7	22,091
6 期末 (2015年 6 月22日)	9,833	30	△ 2.6	9,875	△ 5.5	0.0	99.0	20,869
7 期末 (2015年 7 月21日)	9,239	30	△ 5.7	9,187	△ 7.0	0.0	99.0	19,449
8 期末 (2015年 8 月20日)	8,501	30	△ 7.7	8,772	△ 4.5	0.1	98.7	17,753
9 期末 (2015年 9 月24日)	7,552	30	△ 10.8	7,577	△ 13.6	0.0	99.1	15,474
10期末 (2015年10月20日)	7,443	30	△ 1.0	8,029	6.0	0.1	99.3	14,921
11期末 (2015年11月20日)	7,156	30	△ 3.5	7,643	△ 4.8	0.1	99.2	13,935
12期末 (2015年12月21日)	6,021	30	△ 15.4	6,224	△ 18.6	0.1	98.9	11,188
13期末 (2016年 1 月20日)	5,160	30	△ 13.8	5,392	△ 13.4	0.1	99.0	9,247
14期末 (2016年 2 月22日)	5,264	30	2.6	5,543	2.8	0.1	99.2	9,168
15期末 (2016年 3 月22日)	5,810	30	10.9	6,202	11.9	0.0	99.0	9,990
16期末 (2016年 4 月20日)	6,084	30	5.2	6,542	5.5	—	99.1	10,087
17期末 (2016年 5 月20日)	6,462	30	6.7	6,977	6.6	0.1	99.2	10,229
18期末 (2016年 6 月20日)	6,185	30	△ 3.8	6,778	△ 2.8	0.0	99.0	9,265
19期末 (2016年 7 月20日)	6,514	30	5.8	7,186	6.0	0.0	99.0	9,368
20期末 (2016年 8 月22日)	6,169	30	△ 4.8	6,808	△ 5.3	0.0	99.0	8,688
21期末 (2016年 9 月20日)	6,038	30	△ 1.6	6,640	△ 2.5	0.0	98.6	8,167
22期末 (2016年10月20日)	6,340	30	5.5	7,011	5.6	0.0	99.0	8,374

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンML P指数（円換算）は、Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

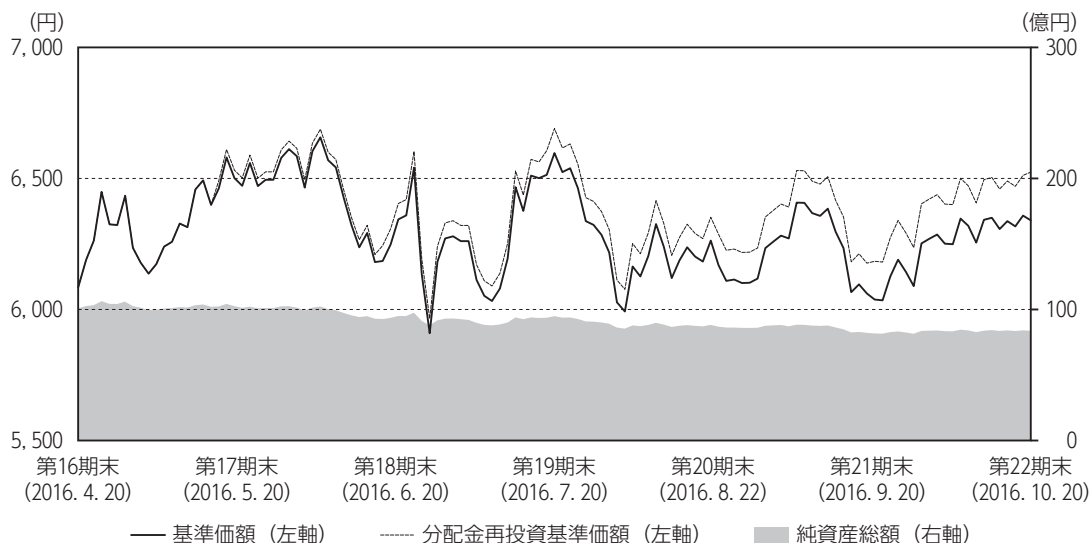
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第17期首：6,084円

第22期末：6,340円（既払分配金180円）

騰落率：7.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油や天然ガスなどの商品市況の回復、エネルギー生産企業の財務状況やMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）の資金調達環境の改善に伴いMLP市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンML P 指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第17期	(期首) 2016年 4 月20日	円 6,084	% —	6,542	% —	% —	% 99.1
	4 月末	6,434	5.8	6,810	4.1	0.0	99.1
	(期末) 2016年 5 月20日	6,492	6.7	6,977	6.6	0.1	99.2
第18期	(期首) 2016年 5 月20日	6,462	—	6,977	—	0.1	99.2
	5 月末	6,495	0.5	7,048	1.0	0.0	99.2
	(期末) 2016年 6 月20日	6,215	△ 3.8	6,778	△ 2.8	0.0	99.0
第19期	(期首) 2016年 6 月20日	6,185	—	6,778	—	0.0	99.0
	6 月末	6,271	1.4	6,877	1.5	0.0	99.0
	(期末) 2016年 7 月20日	6,544	5.8	7,186	6.0	0.0	99.0
第20期	(期首) 2016年 7 月20日	6,514	—	7,186	—	0.0	99.0
	7 月末	6,285	△ 3.5	6,961	△ 3.1	0.0	99.1
	(期末) 2016年 8 月22日	6,199	△ 4.8	6,808	△ 5.3	0.0	99.0
第21期	(期首) 2016年 8 月22日	6,169	—	6,808	—	0.0	99.0
	8 月末	6,258	1.4	6,879	1.0	0.1	99.0
	(期末) 2016年 9 月20日	6,068	△ 1.6	6,640	△ 2.5	0.0	98.6
第22期	(期首) 2016年 9 月20日	6,038	—	6,640	—	0.0	98.6
	9 月末	6,270	3.8	6,806	2.5	0.0	99.1
	(期末) 2016年10月20日	6,370	5.5	7,011	5.6	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP（※）市況

MLP市況は、原油や天然ガスなどの商品市況の回復等を背景に上昇しました。

第17期首より、カナダの山火事やナイジェリアの武装勢力によるパイプライン攻撃で供給障害が生じたことで原油の需給バランスが引き締まり、MLPに対する投資家心理が改善したことなどから、MLP市況は2016年7月中旬にかけて上昇基調となりました。しかし、原油の掘削活動の増加傾向などを受けて原油価格の値動きが大きくなったことなどから、9月上旬にかけて上値の重い展開となりました。第22期末にかけては、米国の長期金利の上昇や、ノースダコタ州のパイプライン（ダコタ・アクセス・パイプライン）建設をめぐる先住民の抗議を受けて連邦政府が建設の一時中止を発表したことなどがマイナス要因となりましたが、OPEC（石油輸出国機構）が臨時総会を開いて約8年ぶりとなる減産に合意したことなどが支援材料となり、ボックス圏での推移となりました。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

○為替相場

円高米ドル安が進行しました。

一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、当作成期間を通じては、英国の国民投票をめぐる混乱から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米国の早期追加利上げ観測が後退したことなどを受けて、円高が一段と進行しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有

する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液関連施設）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、商品価格の上昇と資金調達環境の改善を踏まえて、より大型で保有施設が分散されており、今後の成長機会獲得の可能性も有する一方で、商品価格上昇の恩恵を一部享受するようなMLPを追加し、ポートフォリオを再構成しました。主に、割安な水準で取引されていたことに加え、掘削活動の回復時に稼働率上昇の恩恵を受けると考えられる「集積・処理」などの比率を引き上げた一方で、「天然ガスパイプライン、貯蔵」などの比率を引き下げました。

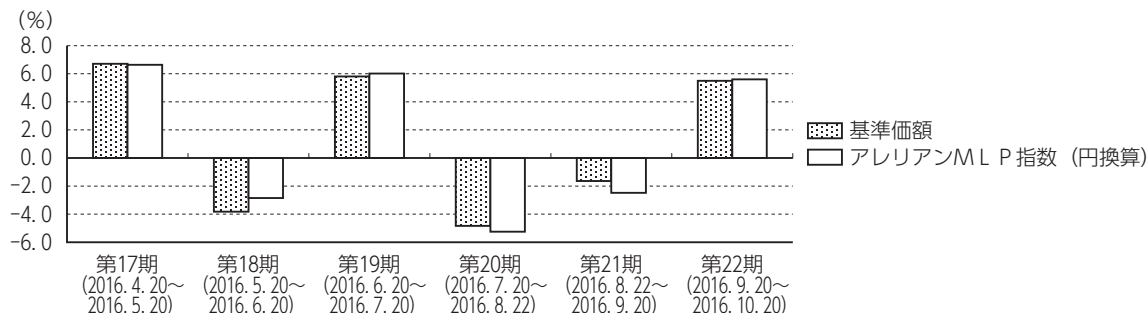
○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」の組入比率が低く、「集積、処理」や「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第17期から第22期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2016年4月21日 ～2016年5月20日	2016年5月21日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月20日	2016年7月21日 ～2016年8月22日	2016年8月23日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.46	0.48	0.46	0.48	0.49	0.47
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	497	523	556	582	610	643

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	61.85円	56.11円	62.28円	56.50円	57.55円	62.72円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	36.16	38.73	40.03	41.54	43.63	49.29
(d) 分配準備積立金	429.76	459.06	483.91	514.75	539.26	561.46
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	527.79	553.90	586.23	612.79	640.45	673.48
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	497.79	523.90	556.23	582.79	610.45	643.48

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発、スポンサー成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&Aの買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	(2016. 4. 21～2016. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	40円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 297円です。
(投信会社)	(14)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(26)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0. 639	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
 投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	9,562.01	556,673	41,653.981	2,445,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
 投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

第 17 期 ～ 第 22 期				第 17 期 ～ 第 22 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	41,653.981	2,445,000	58

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第17期～第22期）中における利害関係人との取引はありません。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第17期～第22期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	225,786	42,671	18.9	—	—	—
コール・ローン	5,349,032	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 22 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	142, 054. 841	8, 289, 752	99. 0

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年10月20日現在

項 目	第 22 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8, 289, 752	98. 0
ダイワ・マネー・マザーファンド	14, 000	0. 2
コール・ローン等、その他	153, 013	1. 8
投資信託財産総額	8, 456, 765	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第16期末	第 22 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	13, 732	13, 732	14, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年 5月20日)、(2016年 6月20日)、(2016年 7月20日)、(2016年 8月22日)、(2016年 9月20日)、(2016年10月20日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
(A) 資産	10, 487, 904, 771円	9, 448, 892, 644円	9, 541, 698, 762円	8, 763, 894, 741円	8, 309, 723, 904円	8, 456, 765, 429円
コール・ローン等	127, 632, 509	163, 230, 361	196, 413, 468	150, 920, 991	138, 713, 317	153, 013, 100
投資信託受益証券 (評価額)	10, 146, 269, 517	9, 171, 659, 537	9, 271, 282, 549	8, 598, 972, 377	8, 057, 010, 588	8, 289, 752, 329
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	14, 002, 746	14, 002, 746	14, 002, 746	14, 001, 373	14, 000, 000	14, 000, 000
未収入金	199, 999, 999	100, 000, 000	59, 999, 999	—	99, 999, 999	—
(B) 負債	258, 546, 443	182, 985, 828	173, 322, 423	75, 613, 777	142, 398, 140	82, 058, 787
未払金	100, 000, 000	50, 000, 000	30, 000, 000	—	50, 000, 000	—
未払収益分配金	47, 490, 853	44, 942, 361	43, 147, 254	42, 254, 393	40, 577, 670	39, 626, 695
未払解約金	100, 267, 321	77, 152, 600	90, 337, 403	22, 844, 598	42, 830, 307	33, 367, 425
未払信託報酬	10, 719, 689	10, 753, 828	9, 639, 205	10, 250, 821	8, 670, 866	8, 689, 919
その他未払費用	68, 580	137, 039	198, 561	263, 965	319, 297	374, 748
(C) 純資産総額 (A－B)	10, 229, 358, 328	9, 265, 906, 816	9, 368, 376, 339	8, 688, 280, 964	8, 167, 325, 764	8, 374, 706, 642
元本	15, 830, 284, 431	14, 980, 787, 013	14, 382, 418, 241	14, 084, 797, 755	13, 525, 890, 058	13, 208, 898, 433
次期繰越損益金	△ 5, 600, 926, 103	△ 5, 714, 880, 197	△ 5, 014, 041, 902	△ 5, 396, 516, 791	△ 5, 358, 564, 294	△ 4, 834, 191, 791
(D) 受益権総口数	15, 830, 284, 431口	14, 980, 787, 013口	14, 382, 418, 241口	14, 084, 797, 755口	13, 525, 890, 058口	13, 208, 898, 433口
1万口当り基準価額 (C／D)	6, 462円	6, 185円	6, 514円	6, 169円	6, 038円	6, 340円

* 第16期末における元本額は16, 579, 966, 848円、当作成期間 (第17期～第22期) 中における追加設定元本額は380, 459, 986円、同解約元本額は3, 751, 528, 401円です。
* 第22期末の計算口数当りの純資産額は6, 340円です。
* 第22期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4, 834, 191, 791円です。

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■損益の状況

第17期 自 2016年 4月21日 至 2016年 5月20日		第18期 自 2016年 5月21日 至 2016年 6月20日		第19期 自 2016年 6月21日 至 2016年 7月20日		第20期 自 2016年 7月21日 至 2016年 8月22日		第21期 自 2016年 8月23日 至 2016年 9月20日		第22期 自 2016年 9月21日 至 2016年 10月20日	
項 目		第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期				
(A) 配当等収益		99,560,118円	94,886,622円	91,265,343円	89,902,380円	86,568,806円	84,520,175円				
受取配当金		99,564,370	94,891,115	91,269,400	89,905,917	86,572,279	84,523,665				
受取利息		33	44	25	14	27	21				
支払利息		△ 4,285	△ 4,537	△ 4,082	△ 3,551	△ 3,500	△ 3,511				
(B) 有価証券売買損益		556,168,369	△ 454,151,562	434,163,939	△ 523,170,017	△ 213,897,511	359,896,404				
売買益		567,472,407	9,875,985	444,384,503	9,885,998	5,764,659	367,092,846				
売買損		△ 11,304,038	△ 464,027,547	△ 10,220,564	△ 533,056,015	△ 219,662,170	△ 7,196,442				
(C) 信託報酬等		△ 10,788,156	△ 10,822,458	△ 9,700,727	△ 10,316,234	△ 8,726,198	△ 8,745,370				
(D) 当期損益金 (A + B + C)		644,940,331	△ 370,087,398	515,728,555	△ 443,583,871	△ 136,054,903	435,671,209				
(E) 前期繰越損益金		△ 6,033,009,245	△ 5,115,336,251	△ 5,295,653,940	△ 4,710,020,064	△ 4,971,293,071	△ 4,979,829,299				
(F) 追加信託差損益金		△ 165,366,336	△ 184,514,187	△ 190,969,263	△ 200,658,463	△ 210,638,650	△ 250,407,006				
(配当等相当額)		(57,256,199)	(58,022,222)	(57,581,989)	(58,511,295)	(59,025,288)	(65,115,902)				
(売買損益相当額)		(△ 222,622,535)	(△ 242,536,409)	(△ 248,551,252)	(△ 259,169,758)	(△ 269,663,938)	(△ 315,522,908)				
(G) 合計 (D + E + F)		△ 5,553,435,250	△ 5,669,937,836	△ 4,970,894,648	△ 5,354,262,398	△ 5,317,986,624	△ 4,794,565,096				
(H) 収益分配金		△ 47,490,853	△ 44,942,361	△ 43,147,254	△ 42,254,393	△ 40,577,670	△ 39,626,695				
次期繰越損益金 (G + H)		△ 5,600,926,103	△ 5,714,880,197	△ 5,014,041,902	△ 5,396,516,791	△ 5,358,564,294	△ 4,834,191,791				
追加信託差損益金		△ 165,366,336	△ 184,514,187	△ 190,969,263	△ 200,658,463	△ 210,638,650	△ 250,407,006				
(配当等相当額)		(57,256,199)	(58,022,222)	(57,581,989)	(58,511,295)	(59,025,288)	(65,115,902)				
(売買損益相当額)		(△ 222,622,535)	(△ 242,536,409)	(△ 248,551,252)	(△ 259,169,758)	(△ 269,663,938)	(△ 315,522,908)				
分配準備積立金		730,765,188	726,835,312	742,420,403	762,349,137	766,664,600	784,860,106				
繰越損益金		△ 6,166,324,955	△ 6,257,201,322	△ 5,565,493,042	△ 5,958,207,465	△ 5,914,590,244	△ 5,368,644,891				

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	97,921,763円	84,063,834円	89,579,672円	79,585,425円	77,841,901円	82,856,268円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	57,256,199	58,022,222	57,581,989	58,511,295	59,025,288	65,115,902
(d) 分配準備積立金	680,334,278	687,713,839	695,987,985	725,018,105	729,400,369	741,630,533
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	835,512,240	829,799,895	843,149,646	863,114,825	866,267,558	889,602,703
(f) 分配金	47,490,853	44,942,361	43,147,254	42,254,393	40,577,670	39,626,695
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	788,021,387	784,857,534	800,002,392	820,860,432	825,689,888	849,976,008
(h) 受益権総口数	15,830,284,431口	14,980,787,013口	14,382,418,241口	14,084,797,755口	13,525,890,058口	13,208,898,433口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
（単 価）	(6,462円)	(6,185円)	(6,514円)	(6,169円)	(6,038円)	(6,340円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★日本円コース

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 1 月20日)	8,412	30	△ 15.6	8,843	△ 11.6	0.1	98.7	4,646
2 期末 (2015年 2 月20日)	8,876	30	5.9	9,178	3.8	0.0	98.0	4,886
3 期末 (2015年 3 月20日)	8,368	30	△ 5.4	8,646	△ 5.8	0.1	98.9	4,470
4 期末 (2015年 4 月20日)	8,678	30	4.1	9,064	4.8	0.0	97.9	4,624
5 期末 (2015年 5 月20日)	8,930	30	3.2	9,237	1.9	0.0	99.1	4,663
6 期末 (2015年 6 月22日)	8,520	30	△ 4.3	8,600	△ 6.9	0.0	98.9	4,397
7 期末 (2015年 7 月21日)	7,924	30	△ 6.6	7,893	△ 8.2	0.1	99.0	4,072
8 期末 (2015年 8 月20日)	7,263	30	△ 8.0	7,569	△ 4.1	0.1	98.9	3,717
9 期末 (2015年 9 月24日)	6,697	30	△ 7.4	6,735	△ 11.0	0.1	99.0	3,333
10期末 (2015年10月20日)	6,614	30	△ 0.8	7,177	6.6	0.1	99.1	3,191
11期末 (2015年11月20日)	6,186	30	△ 6.0	6,642	△ 7.5	0.1	99.1	2,968
12期末 (2015年12月21日)	5,251	30	△ 14.6	5,484	△ 17.4	0.1	99.1	2,327
13期末 (2016年 1 月20日)	4,627	30	△ 11.3	4,901	△ 10.6	0.1	99.2	2,000
14期末 (2016年 2 月22日)	4,959	30	7.8	5,248	7.1	0.1	94.7	2,226
15期末 (2016年 3 月22日)	5,521	30	11.9	5,920	12.8	0.0	99.1	2,500
16期末 (2016年 4 月20日)	5,886	30	7.2	6,402	8.1	—	99.2	2,524
17期末 (2016年 5 月20日)	6,213	30	6.1	6,771	5.8	0.1	98.8	2,596
18期末 (2016年 6 月20日)	6,260	30	1.2	6,918	2.2	0.0	98.7	2,444
19期末 (2016年 7 月20日)	6,464	30	3.7	7,241	4.7	0.0	99.2	2,460
20期末 (2016年 8 月22日)	6,493	30	0.9	7,229	△ 0.2	0.0	98.9	2,433
21期末 (2016年 9 月20日)	6,216	30	△ 3.8	6,959	△ 3.7	0.0	97.7	1,889
22期末 (2016年10月20日)	6,448	30	4.2	7,227	3.9	0.0	98.8	1,894

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) アレリアンMLP指数（米ドルベース）は、Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

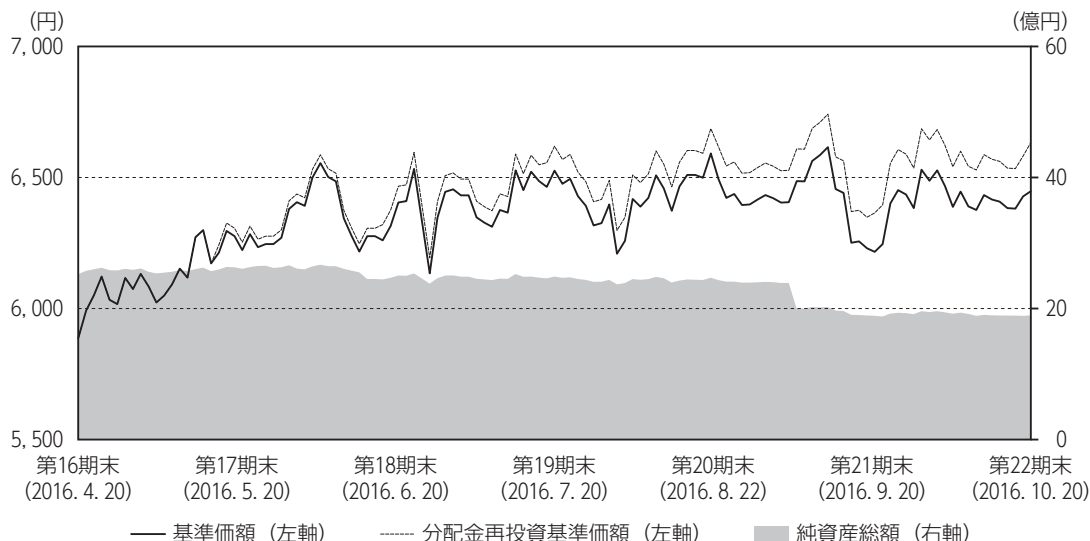
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第17期首：5,886円

第22期末：6,448円（既払分配金180円）

騰落率：12.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油や天然ガスなどの商品市況の回復、エネルギー生産企業の財務状況やMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）の資金調達環境の改善に伴いMLP市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンML P指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第17期		円	%		%	%	%
	(期首) 2016年 4 月20日	5,886	—	6,402	—	—	99.2
	4 月末	6,117	3.9	6,630	3.6	0.0	99.1
	(期末) 2016年 5 月20日	6,243	6.1	6,771	5.8	0.1	98.8
第18期	(期首) 2016年 5 月20日	6,213	—	6,771	—	0.1	98.8
	5 月末	6,246	0.5	6,788	0.2	0.0	98.8
	(期末) 2016年 6 月20日	6,290	1.2	6,918	2.2	0.0	98.7
第19期	(期首) 2016年 6 月20日	6,260	—	6,918	—	0.0	98.7
	6 月末	6,445	3.0	7,140	3.2	0.0	98.9
	(期末) 2016年 7 月20日	6,494	3.7	7,241	4.7	0.0	99.2
第20期	(期首) 2016年 7 月20日	6,464	—	7,241	—	0.0	99.2
	7 月末	6,326	△ 2.1	7,122	△ 1.6	0.0	99.0
	(期末) 2016年 8 月22日	6,523	0.9	7,229	△ 0.2	0.0	98.9
第21期	(期首) 2016年 8 月22日	6,493	—	7,229	—	0.0	98.9
	8 月末	6,421	△ 1.1	7,124	△ 1.5	0.1	98.7
	(期末) 2016年 9 月20日	6,246	△ 3.8	6,959	△ 3.7	0.0	97.7
第22期	(期首) 2016年 9 月20日	6,216	—	6,959	—	0.0	97.7
	9 月末	6,488	4.4	7,192	3.4	0.1	99.1
	(期末) 2016年10月20日	6,478	4.2	7,227	3.9	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP（※）市況

MLP市況は、原油や天然ガスなどの商品市況の回復等を背景に上昇しました。

第17期首より、カナダの山火事やナイジェリアの武装勢力によるパイプライン攻撃で供給障害が生じたことで原油の需給バランスが引き締まり、MLPに対する投資家心理が改善したことなどから、MLP市況は2016年7月中旬にかけて上昇基調となりました。しかし、原油の掘削活動の増加傾向などを受けて原油価格の値動きが大きくなったことなどから、9月上旬にかけて上値の重い展開となりました。第22期末にかけては、米国の長期金利の上昇や、ノースダコタ州のパイプライン（ダコタ・アクセス・パイプライン）建設をめぐる先住民の抗議を受けて連邦政府が建設の一時中止を発表したことなどがマイナス要因となりましたが、OPEC（石油輸出国機構）が臨時総会を開いて約8年ぶりとなる減産に合意したことなどが支援材料となり、ボックス圏での推移となりました。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

○アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液関連施設）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、商品価格の上昇と資金調達環境の改善を踏まえて、より大型で保有施設が分散されており、今後の成長機会獲得の可能性も有する一方で、商品価格上昇の恩恵を一部享受するようなMLPを追加し、ポートフォリオを再構成しました。主に、割安な水準で取引されていたことに加え、掘削活動の回復時に稼働率上昇の恩恵を受けると考えられる「集積・処理」などの比率を引き上げた一方で、「天然ガスパイプライン、貯蔵」などの比率を引き下げました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないました。

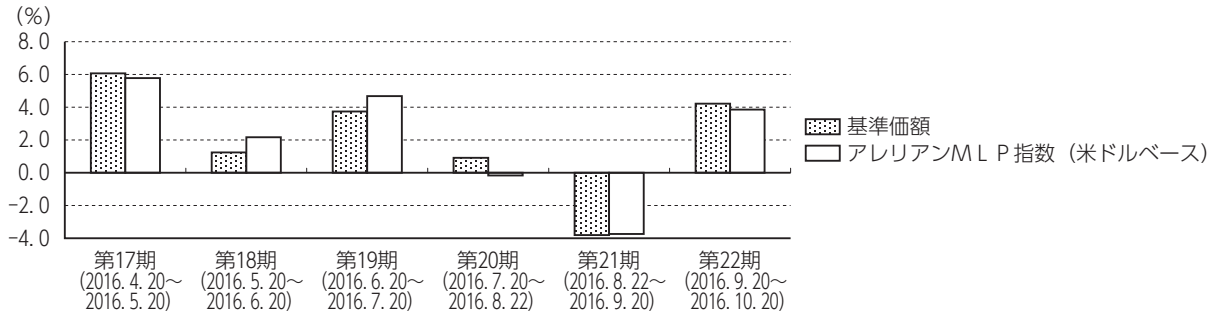
○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」の組入比率が低く、「集積、処理」や「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第17期から第22期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2016年4月21日 ～2016年5月20日	2016年5月21日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月20日	2016年7月21日 ～2016年8月22日	2016年8月23日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.48	0.48	0.46	0.46	0.48	0.46
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	519	548	580	607	634	668

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	61.76円	57.81円	62.06円	57.13円	57.10円	63.06円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	49.24	63.55	67.03	68.76	69.72	74.30
(d) 分配準備積立金	438.93	456.99	481.57	511.90	538.08	560.80
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	549.94	578.36	610.67	637.81	664.92	698.17
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	519.94	548.36	580.67	607.81	634.92	668.17

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンML Pファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。

○アメリカンML Pファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発、スポンサー成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中ML Pに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&Aの買い手やターゲットになり得るML Pにも注目します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	(2016. 4. 21～2016. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	40円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 352円です。
(投信会社)	(14)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(26)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0. 639	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
 投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,688,527	157,241	16,349,392	955,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
 投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

第 17 期 ～ 第 22 期				第 17 期 ～ 第 22 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	273.315	16,000	58	AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	16,349.392	955,000	58

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第17期～第22期）中における利害関係人との取引はありません。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第17期～第22期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	225,786	42,671	18.9	—	—	—
コール・ローン	5,349,032	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 22 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	31, 859. 463	1, 871, 934	98. 8

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第16期末	第 22 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	3, 874	3, 874	3, 950

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年10月20日現在

項 目	第 22 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1, 871, 934	97. 4
ダイワ・マネー・マザーファンド	3, 950	0. 2
コール・ローン等、その他	46, 091	2. 4
投資信託財産総額	1, 921, 976	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年 5月20日)、(2016年 6月20日)、(2016年 7月20日)、(2016年 8月22日)、(2016年 9月20日)、(2016年10月20日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
(A) 資産	2, 611, 473, 270円	2, 583, 249, 762円	2, 503, 133, 155円	2, 447, 435, 434円	1, 923, 923, 380円	1, 938, 976, 301円
コール・ローン等	43, 299, 645	166, 545, 760	57, 613, 677	35, 977, 547	34, 102, 581	29, 091, 640
投資信託受益証券 (評価額)	2, 564, 222, 850	2, 412, 753, 227	2, 441, 568, 703	2, 407, 507, 499	1, 845, 870, 799	1, 871, 934, 661
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	3, 950, 775	3, 950, 775	3, 950, 775	3, 950, 388	3, 950, 000	3, 950, 000
未収入金	—	—	—	—	40, 000, 000	34, 000, 000
(B) 負債	15, 253, 144	139, 023, 882	42, 208, 550	14, 110, 865	34, 460, 109	44, 811, 851
未払金	—	—	—	—	20, 000, 000	17, 000, 000
未払収益分配金	12, 536, 695	11, 713, 775	11, 421, 137	11, 242, 156	9, 118, 802	8, 812, 539
未払解約金	—	124, 470, 686	28, 150, 554	—	3, 066, 647	16, 905, 571
未払信託報酬	2, 699, 198	2, 804, 323	2, 585, 275	2, 799, 277	2, 191, 257	1, 997, 604
その他未払費用	17, 251	35, 098	51, 584	69, 432	83, 403	96, 137
(C) 純資産総額 (A－B)	2, 596, 220, 126	2, 444, 225, 880	2, 460, 924, 605	2, 433, 324, 569	1, 889, 463, 271	1, 894, 164, 450
元本	4, 178, 898, 652	3, 904, 591, 831	3, 807, 045, 727	3, 747, 385, 624	3, 039, 600, 794	2, 937, 513, 023
次期繰越損益金	△ 1, 582, 678, 526	△ 1, 460, 365, 951	△ 1, 346, 121, 122	△ 1, 314, 061, 055	△ 1, 150, 137, 523	△ 1, 043, 348, 573
(D) 受益権総口数	4, 178, 898, 652□	3, 904, 591, 831□	3, 807, 045, 727□	3, 747, 385, 624□	3, 039, 600, 794□	2, 937, 513, 023□
1万口当り基準価額 (C／D)	6, 213円	6, 260円	6, 464円	6, 493円	6, 216円	6, 448円

* 第16期末における元本額は4, 289, 403, 917円、当作成期間 (第17期～第22期) 中における追加設定元本額は248, 536, 603円、同解約元本額は1, 600, 427, 497円です。
 * 第22期末の計算口数当りの純資産額は6, 448円です。
 * 第22期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1, 043, 348, 573円です。

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 日本円コース

■損益の状況

第17期 自 2016年 4月21日 至 2016年 5月20日		第18期 自 2016年 5月21日 至 2016年 6月20日		第19期 自 2016年 6月21日 至 2016年 7月20日		第20期 自 2016年 7月21日 至 2016年 8月22日		第21期 自 2016年 8月23日 至 2016年 9月20日		第22期 自 2016年 9月21日 至 2016年 10月20日	
項 目		第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期				
(A) 配当等収益		26,286,289円	24,808,753円	24,321,005円	24,121,730円	19,564,372円	19,010,470円				
受取配当金		26,287,571	24,810,441	24,322,378	24,122,726	19,565,171	19,011,183				
受取利息		9	32	6	—	61	—				
支払利息		△ 1,291	△ 1,720	△ 1,379	△ 996	△ 860	△ 713				
(B) 有価証券売買損益		124,091,741	6,543,854	67,255,277	956,081	△ 92,513,844	59,574,186				
売買益		127,101,194	9,877,235	69,048,739	1,397,334	4,911,832	60,576,531				
売買損		△ 3,009,453	△ 3,333,381	△ 1,793,462	△ 441,253	△ 97,425,676	△ 1,002,345				
(C) 信託報酬等		△ 2,716,421	△ 2,822,210	△ 2,601,761	△ 2,817,128	△ 2,205,228	△ 2,010,338				
(D) 当期損益金 (A + B + C)		147,661,609	28,530,397	88,974,521	22,260,683	△ 75,154,700	76,574,318				
(E) 前期繰越損益金		△ 1,461,343,124	△ 1,203,087,359	△ 1,148,916,540	△ 1,051,014,374	△ 842,065,404	△ 888,278,493				
(F) 追加信託差損益金		△ 256,460,316	△ 274,095,214	△ 274,757,966	△ 274,065,208	△ 223,798,617	△ 222,831,859				
(配当等相当額)		(20,580,647)	(24,814,146)	(25,518,716)	(25,769,330)	(21,193,425)	(21,827,443)				
(売買損益相当額)		(△ 277,040,963)	(△ 298,909,360)	(△ 300,276,682)	(△ 299,834,538)	(△ 244,992,042)	(△ 244,659,302)				
(G) 合計 (D + E + F)		△ 1,570,141,831	△ 1,448,652,176	△ 1,334,699,985	△ 1,302,818,899	△ 1,141,018,721	△ 1,034,536,034				
(H) 収益分配金		△ 12,536,695	△ 11,713,775	△ 11,421,137	△ 11,242,156	△ 9,118,802	△ 8,812,539				
次期繰越損益金 (G + H)		△ 1,582,678,526	△ 1,460,365,951	△ 1,346,121,122	△ 1,314,061,055	△ 1,150,137,523	△ 1,043,348,573				
追加信託差損益金		△ 256,460,316	△ 274,095,214	△ 274,757,966	△ 274,065,208	△ 223,798,617	△ 222,831,859				
(配当等相当額)		(20,580,647)	(24,814,146)	(25,518,716)	(25,769,330)	(21,193,425)	(21,827,443)				
(売買損益相当額)		(△ 277,040,963)	(△ 298,909,360)	(△ 300,276,682)	(△ 299,834,538)	(△ 244,992,042)	(△ 244,659,302)				
分配準備積立金		196,698,975	189,298,410	195,546,298	202,001,796	171,797,271	174,450,131				
繰越損益金		△ 1,522,917,185	△ 1,375,569,147	△ 1,266,909,454	△ 1,241,997,643	△ 1,098,136,177	△ 994,966,845				

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,811,260円	22,575,448円	23,629,795円	21,411,734円	17,358,954円	18,524,021円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	20,580,647	24,814,146	25,518,716	25,769,330	21,193,425	21,827,443
(d) 分配準備積立金	183,424,410	178,436,737	183,337,640	191,832,218	163,557,119	164,738,649
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	229,816,317	225,826,331	232,486,151	239,013,282	202,109,498	205,090,113
(f) 分配金	12,536,695	11,713,775	11,421,137	11,242,156	9,118,802	8,812,539
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	217,279,622	214,112,556	221,065,014	227,771,126	192,990,696	196,277,574
(h) 受益権総口数	4,178,898,652口	3,904,591,831口	3,807,045,727口	3,747,385,624口	3,039,600,794口	2,937,513,023口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
（単 価）	(6, 213円)	(6, 260円)	(6, 464円)	(6, 493円)	(6, 216円)	(6, 448円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨αコース

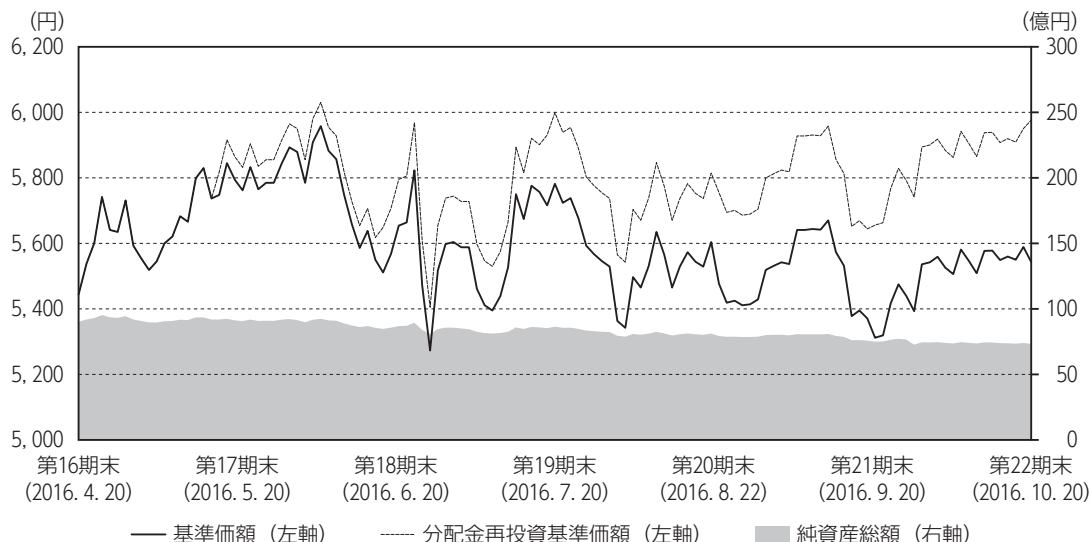
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 金 額 分 配 騰 落 中 率		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総 額
		円	円 %			
1 期末 (2015年 1 月20日)	8, 877	70	△ 10. 5	0. 1	98. 3	17, 409
2 期末 (2015年 2 月20日)	9, 447	70	7. 2	0. 0	99. 1	18, 874
3 期末 (2015年 3 月20日)	8, 993	70	△ 4. 1	0. 0	98. 8	18, 204
4 期末 (2015年 4 月20日)	9, 215	70	3. 2	0. 0	98. 9	18, 790
5 期末 (2015年 5 月20日)	9, 571	70	4. 6	0. 0	98. 9	19, 734
6 期末 (2015年 6 月22日)	9, 188	70	△ 3. 3	0. 0	98. 7	18, 917
7 期末 (2015年 7 月21日)	8, 589	70	△ 5. 8	0. 1	98. 9	17, 475
8 期末 (2015年 8 月20日)	7, 870	70	△ 7. 6	0. 1	98. 9	15, 683
9 期末 (2015年 9 月24日)	6, 980	70	△ 10. 4	0. 1	99. 0	13, 816
10期末 (2015年10月20日)	6, 872	70	△ 0. 5	0. 1	99. 2	13, 446
11期末 (2015年11月20日)	6, 523	70	△ 4. 1	0. 1	99. 2	12, 579
12期末 (2015年12月21日)	5, 471	70	△ 15. 1	0. 1	99. 3	10, 208
13期末 (2016年 1 月20日)	4, 666	70	△ 13. 4	0. 1	99. 3	8, 602
14期末 (2016年 2 月22日)	4, 749	70	3. 3	0. 1	98. 8	8, 544
15期末 (2016年 3 月22日)	5, 223	70	11. 5	0. 0	95. 6	9, 232
16期末 (2016年 4 月20日)	5, 444	70	5. 6	—	99. 2	9, 017
17期末 (2016年 5 月20日)	5, 748	70	6. 9	0. 1	97. 8	9, 189
18期末 (2016年 6 月20日)	5, 511	70	△ 2. 9	0. 0	98. 8	8, 474
19期末 (2016年 7 月20日)	5, 716	70	5. 0	0. 0	99. 0	8, 528
20期末 (2016年 8 月22日)	5, 477	70	△ 3. 0	0. 0	99. 1	7, 929
21期末 (2016年 9 月20日)	5, 312	70	△ 1. 7	0. 0	98. 7	7, 493
22期末 (2016年10月20日)	5, 543	70	5. 7	0. 0	98. 9	7, 327

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第17期首：5,444円

第22期末：5,543円（既払分配金420円）

騰落率：9.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油や天然ガスなどの商品市況の回復、エネルギー生産企業の財務状況やMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）の資金調達環境の改善に伴いMLP市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国ML Pファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率		
第17期		円	%	%	%
	(期首) 2016年 4 月20日	5,444	—	—	99.2
	4 月末	5,731	5.3	0.0	98.8
	(期末) 2016年 5 月20日	5,818	6.9	0.1	97.8
第18期	(期首) 2016年 5 月20日	5,748	—	0.1	97.8
	5 月末	5,785	0.6	0.0	99.3
	(期末) 2016年 6 月20日	5,581	△ 2.9	0.0	98.8
第19期	(期首) 2016年 6 月20日	5,511	—	0.0	98.8
	6 月末	5,598	1.6	0.0	98.9
	(期末) 2016年 7 月20日	5,786	5.0	0.0	99.0
第20期	(期首) 2016年 7 月20日	5,716	—	0.0	99.0
	7 月末	5,546	△ 3.0	0.0	99.0
	(期末) 2016年 8 月22日	5,547	△ 3.0	0.0	99.1
第21期	(期首) 2016年 8 月22日	5,477	—	0.0	99.1
	8 月末	5,531	1.0	0.1	99.0
	(期末) 2016年 9 月20日	5,382	△ 1.7	0.0	98.7
第22期	(期首) 2016年 9 月20日	5,312	—	0.0	98.7
	9 月末	5,542	4.3	0.0	98.9
	(期末) 2016年10月20日	5,613	5.7	0.0	98.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP（※）市況

MLP市況は、原油や天然ガスなどの商品市況の回復等を背景に上昇しました。

第17期首より、カナダの山火事やナイジェリアの武装勢力によるパイプライン攻撃で供給障害が生じたことで原油の需給バランスが引き締まり、MLPに対する投資家心理が改善したことなどから、MLP市況は2016年7月中旬にかけて上昇基調となりました。しかし、原油の掘削活動の増加傾向などを受けて原油価格の値動きが大きくなったことなどから、9月上旬にかけて上値の重い展開となりました。第22期末にかけては、米国の長期金利の上昇や、ノースダコタ州のパイプライン（ダコタ・アクセス・パイプライン）建設をめぐる先住民の抗議を受けて連邦政府が建設の一時中止を発表したことなどがマイナス要因となりましたが、OPEC（石油輸出国機構）が臨時総会を開いて約8年ぶりとなる減産に合意したことなどが支援材料となり、ボックス圏での推移となりました。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

○為替相場

円高米ドル安が進行しました。

一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、当作成期間を通じては、英国の国民投票をめぐる混乱から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米国の早期追加利上げ観測が後退したことなどを受けて、円高が一段と進行しました。

○通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティはおおむね横ばいとなりました。

第17期首から2016年7月にかけては、日銀の金融政策決定会合やFOMC（米国連邦公開市場委員会）、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票といったイベントがボラティリティの上昇要因となりました。その後、いったんボラティリティは低下しましたが、8月後半には米国の利上げ観測が強まったこともあり、ボラティリティは再度上昇しました。しかし、9月後半に日銀の会合やFOMCを通過する中で、ボラティリティは低下しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液関連施設）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、商品価格の上昇と資金調達環境の改善を踏まえて、より大型で保有施設が分散されており、今後の成長機会獲得の可能性も有する一方で、商品価格上昇の恩恵を一部享受するようなMLPを追加し、ポートフォリオを再構成しました。主に、割安な水準で取引されていたことに加え、掘削活動の回復時に稼働率上昇の恩恵を受けると考えられる「集積・処理」などの比率を引き上げた一方で、「天然ガスパイプライン、貯蔵」などの比率を引き下げました。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第17期から第22期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2016年4月21日 ～2016年5月20日	2016年5月21日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月20日	2016年7月21日 ～2016年8月22日	2016年8月23日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（％）	1.20	1.25	1.21	1.26	1.30	1.25
当期の収益（円）	70	70	70	70	70	70
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,014	1,074	1,139	1,203	1,269	1,339

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	133.70円	129.95円	134.76円	133.60円	135.95円	140.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	69.28	84.47	91.39	94.71	98.34	102.75
(d) 分配準備積立金	881.31	930.27	983.77	1,045.21	1,105.19	1,166.78
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,084.30	1,144.70	1,209.92	1,273.53	1,339.49	1,409.74
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,014.30	1,074.70	1,139.92	1,203.53	1,269.49	1,339.74

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発、スポンサー成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&Aの買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	(2016. 4. 21～2016. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	36円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 598円です。
(投信会社)	(12)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(23)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 030	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(2)	(0. 030)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	37	0. 668	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	26,538.413	1,240,286	54,144.755	2,542,455

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

第 17 期 ～ 第 22 期				第 22 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	54,144.755	2,542,455	46

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第17期～第22期）中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 22 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	225,786	42,671	18.9	—	—	—
コール・ローン	5,349,032	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第17期～第22期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 22 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	159, 429. 068	7, 247, 326	98. 9

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第16期末	第 22 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	13, 437	13, 437	13, 700

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年10月20日現在

項 目	第 22 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7, 247, 326	97. 2
ダイワ・マネー・マザーファンド	13, 700	0. 2
コール・ローン等、その他	193, 030	2. 6
投資信託財産総額	7, 454, 057	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年 5月20日)、(2016年 6月20日)、(2016年 7月20日)、(2016年 8月22日)、(2016年 9月20日)、(2016年10月20日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
(A) 資産	9, 543, 143, 222円	8, 647, 554, 622円	8, 675, 044, 326円	8, 071, 189, 273円	7, 625, 130, 874円	7, 454, 057, 050円
コール・ローン等	244, 887, 629	203, 527, 095	220, 218, 983	201, 105, 862	213, 895, 061	193, 030, 436
投資信託受益証券 (評価額)	8, 984, 852, 907	8, 370, 384, 841	8, 441, 122, 656	7, 856, 382, 067	7, 397, 535, 813	7, 247, 326, 614
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13, 702, 687	13, 702, 687	13, 702, 687	13, 701, 344	13, 700, 000	13, 700, 000
未収入金	299, 699, 999	59, 939, 999	—	—	—	—
(B) 負債	353, 867, 272	173, 336, 638	146, 494, 499	141, 360, 106	131, 249, 466	126, 232, 846
未払金	149, 850, 000	29, 970, 000	—	—	—	—
未払収益分配金	111, 915, 631	107, 647, 687	104, 439, 920	101, 344, 957	98, 752, 451	92, 539, 060
未払解約金	82, 420, 164	25, 867, 706	33, 019, 487	30, 366, 150	24, 251, 893	25, 575, 711
未払信託報酬	9, 619, 934	9, 727, 775	8, 855, 102	9, 408, 980	7, 954, 346	7, 777, 670
その他未払費用	61, 543	123, 470	179, 990	240, 019	290, 776	340, 405
(C) 純資産総額 (A－B)	9, 189, 275, 950	8, 474, 217, 984	8, 528, 549, 827	7, 929, 829, 167	7, 493, 881, 408	7, 327, 824, 204
元本	15, 987, 947, 376	15, 378, 241, 077	14, 919, 988, 596	14, 477, 851, 077	14, 107, 493, 023	13, 219, 865, 755
次期繰越損益金	△ 6, 798, 671, 426	△ 6, 904, 023, 093	△ 6, 391, 438, 769	△ 6, 548, 021, 910	△ 6, 613, 611, 615	△ 5, 892, 041, 551
(D) 受益権総口数	15, 987, 947, 376□	15, 378, 241, 077□	14, 919, 988, 596□	14, 477, 851, 077□	14, 107, 493, 023□	13, 219, 865, 755□
1万口当り基準価額 (C／D)	5, 748円	5, 511円	5, 716円	5, 477円	5, 312円	5, 543円

* 第16期末における元本額は16, 564, 105, 783円、当作成期間 (第17期～第22期) 中における追加設定元本額は564, 149, 967円、同解約元本額は3, 908, 389, 995円です。
 * 第22期末の計算口数当りの純資産額は5, 543円です。
 * 第22期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5, 892, 041, 551円です。

■損益の状況

第17期 自 2016年 4月21日 至 2016年 5月20日		第18期 自 2016年 5月21日 至 2016年 6月20日		第19期 自 2016年 6月21日 至 2016年 7月20日		第20期 自 2016年 7月21日 至 2016年 8月22日		第21期 自 2016年 8月23日 至 2016年 9月20日		第22期 自 2016年 9月21日 至 2016年10月20日	
項 目		第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期				
(A) 配当等収益		217, 239, 489円	209, 638, 709円	205, 431, 353円	202, 901, 525円	199, 807, 544円	188, 992, 776円				
受取配当金		217, 243, 829	209, 643, 501	205, 435, 215	202, 905, 177	199, 810, 694	188, 997, 287				
受取利息		38	58	27	28	21	80				
支払利息		△ 4, 378	△ 4, 850	△ 3, 889	△ 3, 680	△ 3, 171	△ 4, 591				
(B) 有価証券売買損益		389, 318, 684	△ 458, 732, 317	213, 829, 180	△ 438, 053, 939	△ 326, 141, 655	216, 708, 008				
売買益		399, 470, 078	5, 165, 177	219, 784, 506	11, 898, 938	3, 014, 677	228, 151, 189				
売買損		△ 10, 151, 394	△ 463, 897, 494	△ 5, 955, 326	△ 449, 952, 877	△ 329, 156, 332	△ 11, 443, 181				
(C) 信託報酬等		△ 9, 681, 383	△ 9, 789, 855	△ 8, 911, 622	△ 9, 469, 020	△ 8, 005, 103	△ 7, 827, 299				
(D) 当期損益金 (A + B + C)		596, 876, 790	△ 258, 883, 463	410, 348, 911	△ 244, 621, 434	△ 134, 339, 214	397, 873, 485				
(E) 前期繰越損益金		△ 6, 855, 475, 316	△ 6, 031, 996, 108	△ 6, 167, 340, 196	△ 5, 669, 745, 496	△ 5, 842, 656, 902	△ 5, 672, 235, 513				
(F) 追加信託差損益金		△ 428, 157, 269	△ 505, 495, 835	△ 530, 007, 564	△ 532, 310, 023	△ 537, 863, 048	△ 525, 140, 463				
(配当等相当額)		(110, 773, 417)	(129, 905, 905)	(136, 354, 005)	(137, 122, 472)	(138, 734, 834)	(135, 842, 488)				
(売買損益相当額)		(△ 538, 930, 686)	(△ 635, 401, 740)	(△ 666, 361, 569)	(△ 669, 432, 495)	(△ 676, 597, 882)	(△ 660, 982, 951)				
(G) 合計 (D + E + F)		△ 6, 686, 755, 795	△ 6, 796, 375, 406	△ 6, 286, 998, 849	△ 6, 446, 676, 953	△ 6, 514, 859, 164	△ 5, 799, 502, 491				
(H) 収益分配金		△ 111, 915, 631	△ 107, 647, 687	△ 104, 439, 920	△ 101, 344, 957	△ 98, 752, 451	△ 92, 539, 060				
次期繰越損益金 (G + H)		△ 6, 798, 671, 426	△ 6, 904, 023, 093	△ 6, 391, 438, 769	△ 6, 548, 021, 910	△ 6, 613, 611, 615	△ 5, 892, 041, 551				
追加信託差損益金		△ 428, 157, 269	△ 505, 495, 835	△ 530, 007, 564	△ 532, 310, 023	△ 537, 863, 048	△ 525, 140, 463				
(配当等相当額)		(110, 773, 417)	(129, 905, 905)	(136, 354, 005)	(137, 122, 472)	(138, 734, 834)	(135, 842, 488)				
(売買損益相当額)		(△ 538, 930, 686)	(△ 635, 401, 740)	(△ 666, 361, 569)	(△ 669, 432, 495)	(△ 676, 597, 882)	(△ 660, 982, 951)				
分配準備積立金		1, 510, 892, 774	1, 522, 807, 399	1, 564, 410, 492	1, 605, 336, 602	1, 652, 204, 913	1, 635, 283, 078				
繰越損益金		△ 7, 881, 406, 931	△ 7, 921, 334, 657	△ 7, 425, 841, 697	△ 7, 621, 048, 489	△ 7, 727, 953, 480	△ 7, 002, 184, 166				

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 経費控除後の配当等収益	213, 771, 886円	199, 848, 528円	201, 064, 014円	193, 431, 803円	191, 801, 746円	185, 346, 296円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	110, 773, 417	129, 905, 905	136, 354, 005	137, 122, 472	138, 734, 834	135, 842, 488
(d) 分配準備積立金	1, 409, 036, 519	1, 430, 606, 558	1, 467, 786, 398	1, 513, 249, 756	1, 559, 155, 618	1, 542, 475, 842
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1, 733, 581, 822	1, 760, 360, 991	1, 805, 204, 417	1, 843, 804, 031	1, 889, 692, 198	1, 863, 664, 626
(f) 分配金	1, 733, 581, 631	1, 760, 360, 687	1, 805, 204, 417	1, 843, 804, 031	1, 889, 692, 198	1, 863, 664, 626
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1, 621, 666, 191	1, 652, 713, 304	1, 700, 764, 497	1, 742, 459, 074	1, 790, 939, 747	1, 771, 125, 566
(h) 受益権総口数	15, 987, 947, 376□	15, 378, 241, 077□	14, 919, 988, 596□	14, 477, 851, 077□	14, 107, 493, 023□	13, 219, 865, 755□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	70円	70円	70円	70円	70円	70円
（単 価）	(5, 748円)	(5, 511円)	(5, 716円)	(5, 477円)	(5, 312円)	(5, 543円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除き全てのクラスを合算しております。

（注）2016年10月20日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2016年3月31日現在

資産		
投資、公正価値（取得原価：\$ 241,065,565）	\$	180,050,730
現金		340
為替先渡契約による評価益		55,026
スポット契約による評価益		7
売却した投資に係る未収金		2,109,452
未収法人税等		8,803,535
その他の資産		15,861
資産合計		191,034,951
負債		
売建オプション、公正価値（受取プレミアム：\$ 750,072）		217,279
為替先渡契約による評価損		1,024
未払い：		
買付投資		279,701
解約金		577,784
専門家報酬		89,475
運用報酬		79,525
会計および管理報酬		26,640
保管報酬		12,551
為替運用		6,737
名義書換代理報酬		3,787
計算代理人報酬		1,051
負債合計		1,295,554
純資産	\$	189,739,397
純資産の内訳：		
払込資本金	\$	404,567,389
（受益者への分配金）		(54,414,947)
累積欠損金		(160,413,045)
純資産	\$	189,739,397
クラス別純資産		
通貨αクラス	\$	79,011,224
円ヘッジクラス		21,690,522
ノンヘッジクラス		89,037,651
	\$	189,739,397

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

発行済受益証券口数

通貨αクラス	188,621,054
円ヘッジクラス	46,896,570
ノンヘッジクラス	179,308,273

1口当りの純資産価額

通貨αクラス	\$	0.419
円ヘッジクラス	\$	0.463
ノンヘッジクラス	\$	0.497

損益計算書

2016年3月31日に終了した年度

投資収入

配当収入（\$30,482の源泉徴収税控除後）	\$	159,225
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金		17,083,503
（元本払戻金（特別分配金））		(16,564,102)
受取利息		1,793
投資収入合計		680,419

費用

運用報酬		1,365,965
会計および管理報酬		218,167
専門家報酬		183,875
為替運用		116,800
保管報酬		72,100
州法人税		45,289
名義書換代理報酬		30,467
受託会社報酬		10,233
登録費用		7,214
計算代理人報酬		8,172
費用合計		2,058,282

税引前投資純損失 (1,377,863)

当期法人税控除額

税引後投資純損失 (1,377,863)

実現益および評価益（実現損および評価損）：

実現益（損）：

有価証券への投資	(70,374,068)
為替取引および為替先渡契約	375,589
売建オプション	1,340,200
純実現損失	(68,658,279)

評価益（損）の純変動：

有価証券への投資	(29,545,728)
為替換算および為替先渡契約	247,121
売建オプション	95,274
評価損の純変動	(29,203,333)

純実現・評価損 (97,861,612)

運用の結果生じた純資産の純減少 \$ (99,239,475)

投資明細書
2016年3月31日現在

出資口数	有価証券の明細	公正価値
	普通株 (2.9%)	
	川中事業 (2.9%)	
121,400	SemGroup Corp. Class A	\$ 2,719,360
95,800	Targa Resources Corp.	2,860,588
	普通株合計 (取得原価 \$7,818,300)	\$ 5,579,948
	マスター・リミテッド・パートナーシップ (91.5%)	
	集積・処理 (10.1%)	
356,465	Cone Midstream Partners LP	4,459,377
246,600	Crestwood Equity Partners LP	2,877,822
396,125	MPLX LP	11,760,951
		19,098,150
	天然ガスパイプライン・貯蔵 (16.8%)	
529,900	Boardwalk Pipeline Partners LP	7,810,726
151,484	Columbia Pipeline Partners LP	2,211,667
6,960	Dominion Midstream Partners LP	234,900
119,777	EQT Midstream Partners LP	8,915,002
113,500	Spectra Energy Partners LP	5,461,620
191,200	Tallgrass Energy Partners LP	7,326,784
		31,960,699
	原油 & 精製品のパイプライン・貯蔵 (38.6%)	
39,600	Buckeye Partners LP	2,690,424
122,018	Delek Logistics Partners LP	3,831,365
167,905	Genesis Energy LP	5,337,700
225,000	Magellan Midstream Partners LP	15,480,000
335,722	Plains All American Pipeline LP	7,040,091
88,062	Rose Rock Midstream LP	1,045,296
179,800	Shell Midstream Partners LP	6,582,478
471,427	Sunoco Logistics Partners LP	11,818,675
203,752	Tesoro Logistics LP	9,303,316
71,414	Valero Energy Partners LP	3,382,167
140,521	VTTI Energy Partners LP	2,599,639
176,595	Western Refining Logistics LP	4,123,493
		73,234,644
	パイプライン・貯蔵・処理 (25.0%)	
569,824	Energy Transfer Partners LP	18,428,108
670,621	Enterprise Products Partners LP	16,510,689
606,660	Williams Partners LP	12,406,197
		47,344,994
	再生可能エネルギー (1.0%)	
67,900	NextEra Energy Partners LP	1,846,201
		1,846,201
	マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (取得原価: \$232,261,171)	\$ 173,484,688
元本金額	短期投資 (0.5%)	
	定期預金 (0.5%)	
U S D 986,094	JP Morgan Chase, New York 0.14%, due 04/01/2016	986,094
	短期投資合計 (取得原価 \$986,094)	\$ 986,094
	投資合計 (取得原価 \$241,065,565) (94.9%)	\$ 180,050,730
	負債を上回る現金とその他の資産 (5.1%)	9,688,667
	純資産 (100%)	\$ 189,739,397

ダイワ米国ML P ファンド（毎月分配型）

2016年 3 月31日現在未決済の為替先渡契約（通貨αクラス）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損失)	純評価益／(損失)
U S D	Morgan Stanley	101, 104	2016年 4 月 1 日	J P Y	11, 478, 650	\$ -	\$ (1, 024)	\$ (1, 024)
						\$ -	\$ (1, 024)	\$ (1, 024)

2016年 3 月31日現在未決済の為替先渡契約（円ヘッジクラス）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損失)	純評価益／(損失)
J P Y	Brown Brothers Harriman	2, 329, 546, 863	2016年 4 月28日	U S D	20, 687, 421	\$ 55, 026	\$ -	\$ 55, 026

2016年 3 月31日現在未決済の売建オプション（通貨αクラス）

銘柄	カウンターパーティ	行使価格	満期日	契約枚数	受取プレミアム	公正価値
Call - OTC Japanese yen versus US dollar	Nomura Securities Co. Ltd.	¥ 111. 77	2016年 4 月 7 日	9, 500, 000	\$ (178, 250)	\$ (80, 499)
Call - OTC Japanese yen versus US dollar	Nomura Securities Co. Ltd.	113. 80	2016年 4 月15日	11, 000, 000	(177, 468)	(28, 847)
Call - OTC Japanese yen versus US dollar	Citibank N. A. Tokyo	113. 28	2016年 4 月22日	9, 000, 000	(107, 970)	(49, 076)
Call - OTC Japanese yen versus US dollar	Citibank N. A. Tokyo	113. 42	2016年 4 月28日	9, 000, 000	(117, 151)	(58, 857)
					\$ (580, 839)	\$ (217, 279)

通貨の略称	
J P Y	日本円
U S D	米ドル

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第22期の決算日（2016年10月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を42ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年4月21日から2016年10月20日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379		
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973		
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584		
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		
607 国庫短期証券 2016/8/15	9,490,188		
545 国庫短期証券 2016/7/20	9,200,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年10月20日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（56,551,471千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年10月20日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 入 率 以 下 組 比	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	13,110,000	13,110,294	22.7	—	—	—	22.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年10月20日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	622 国庫短期証券	—	5,280,000	5,280,047	2016/10/24	
	623 国庫短期証券	—	6,430,000	6,430,192	2016/10/31	
	624 国庫短期証券	—	1,340,000	1,340,050	2016/11/07	
	626 国庫短期証券	—	60,000	60,004	2016/11/14	
合 計	銘 柄 数	4銘柄				
	金 額		13,110,000	13,110,294		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2015年12月9日）

（計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

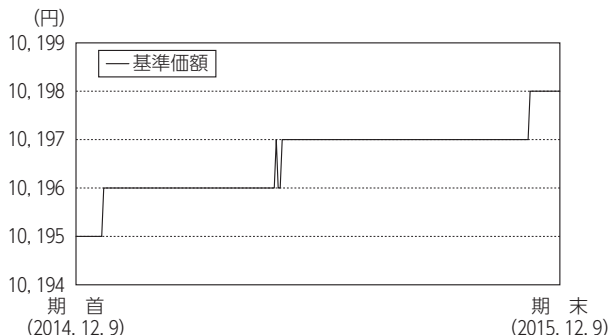
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首) 2014年12月 9 日	10, 195	—	60. 0
12月末	10, 196	0. 0	88. 5
2015年 1 月末	10, 196	0. 0	87. 3
2 月末	10, 196	0. 0	58. 5
3 月末	10, 196	0. 0	53. 0
4 月末	10, 196	0. 0	61. 8
5 月末	10, 197	0. 0	59. 0
6 月末	10, 197	0. 0	53. 3
7 月末	10, 197	0. 0	62. 8
8 月末	10, 197	0. 0	70. 5
9 月末	10, 197	0. 0	61. 6
10 月末	10, 197	0. 0	66. 8
11 月末	10, 198	0. 0	52. 5
(期末) 2015年12月 9 日	10, 198	0. 0	55. 2

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっておりま

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっておりま

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	120,653,910 ^{千円}	(92,494,000) ^{千円}

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		当 期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作成期	当		期	末			
区 分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

		当 期		末	
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15
合計	銘柄数	11銘柄			
	金 額		43,554,000	43,559,849	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	43,559,849 ^{千円}	55.2 [%]
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8
投資信託財産総額	78,892,178	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	78,892,178,168円
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債（評価額）	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
(B) 負債	—
(C) 純資産総額（A－B）	78,892,178,168
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
(D) 受益権総口数	77,361,886,547口
1万口当り基準価額（C／D）	10,198円

*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）1,000,294,205円、ダイワ／RICⅠ（R）コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）740,564円、US債券NB戦略ファンド（為替ヘッジなし／年1回決算型）1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、（適格機関投資家専用）スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ23,032,151,009円、ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ2,618,628,748円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）13,761,552円、ダイワ／UBSエマージェンシーCBファンド2,498,575円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスⅡー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド（償還条項付き）為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド（Dガード付／部分為替ヘッジあり）140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー（為替ヘッジあり）9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー（為替ヘッジなし）29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド（ダイワSMA専用）490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,433,273円
受取利息	10,433,273
(B) 有価証券売買損益	△ 362,189
売利益	43,331
売買損	△ 405,520
(C) 当期損益金（A＋B）	10,071,084
(D) 前期繰越損益金	491,354,312
(E) 解約差損益金	△ 1,446,302,032
(F) 追加信託差損益金	2,475,168,257
(G) 合計（C＋D＋E＋F）	1,530,291,621
次期繰越損益金（G）	1,530,291,621

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。